



ダンスを通じたコミュニケーションが人と人を繋ぐ。そうした大切な時間に寄り添う空間を創る。

一人ひとりの個性を大切にしたい。人生に迷った時、ダンスに救われた私のように、人は人に救われる。「そんな場所になったら嬉しい」と目をキラキラ輝かせる高羽さんにお話を伺いました。



代表 Lovee(ロイス)
高羽 美珠穂さん
(たかは みずほ)

岡山県新見市哲多町出身。ダンスで繋がる人との出会いが今は一番楽しい。ダンスをしている時が自分らしいとか。

岡山県新見市西方703-1 <http://loyce.jp/>
<https://m.facebook.com/Loyce.niimi/>

祖父の想い

新見市は、自然にできた鍾乳洞で有名ですが、小学校も廃校になったり、過疎になりつつある山間地域の1つなんです。昔から長男が家を継ぐみたいなきたりがあり、祖父は弟に後取りをと思っていたようですが、2歳の時、近くの池で溺れているのを私が発見したのです。その当時私は6歳。物心がついた頃だったのでよく覚えています。心肺停止状態の弟は、1%の可能性しかないと言われ命は取り留めましたが、母はそれからずっと弟の介護に追われ、私と妹は祖父、祖母と暮らすことになりました。そんな祖父の口癖、「家が絶えてしまう」を毎日のように聞かされたことが、私が高羽を継ぐんだと言う強い気持ちになったんだと思うんです。

6年生の2学期に東京へ転校

父の仕事の関係で転校することになり、しばらく東京での生活でした。高校の部活で始めたダンスが都立高校の中でも力を入れていて、都大会や、全国大会に出場するような高校でした。この高校のダンス部が原点です。高校を卒業すると東京女子体育大学に進学。ダンスを二期していなかった時期があり、高校時代の先輩に誘われてストリートダンスをしていたこともありました。そんなこんなしていると大学を卒業、22歳の頃エステシヤンの会社に就職。仕事的には嫌いではありませんでしたが、色々なことが過酷で疲れて倒れてしまいました。そんな時、田舎の祖母の訃報が。お葬式で帰った時、祖父の言っていた家のことが気になり始めていました。

座右の銘 『百分原因論』

自分が選んだ人生は、良くも悪くも自分が選んだ結果と教えてくれた父の言葉を大切にしていて、世界中で一番尊敬しているのが父なんです。エス



地元(LOCAL)・応援(YELL)・機会(CHANCE)ロイスの名前にはそうした願いが込められる。

テの仕事を辞めた後、友人に誘われ東京デイズニードで働くことで、その仕事で今の人生の教訓になっています。目の前の人にどうしたら喜んでもらえるかということをおもてなしたと思うんです。同じキャストだった主人が高羽の家を継いでも良いと言ってくれたので、結婚を機に帰郷。その噂を聞いたある女の子からダンスを教えてほしいと言うのが新見でダンス教室を始めたくっかけなんです。田舎だからできることがある。自分の選んでいる人生は、生まれの町で誰かのために、一生懸命することで、微力ながら誰かの役に立てている、そう感じながら毎日レッスンに励んでいます。